



特定非営利活動法人

神戸日独協会会報

BERICHTE DER NPO JAPANISCH-DEUTSCHEN GESELLSCHAFT KOBE

Nr. 336

Dezember 2018

NPO法人 神戸日独協会

〒651-0087

神戸市中央区御幸通8-1-6 神戸国際会館19F

TEL/FAX 078-230-8150

郵便振替 01160-9-18199

E-mail: info@jdg-kobe.org URL <http://www.jdg-kobe.org/>

NPO JAPANISCH-DEUTSCHE
GESELLSCHAFT KOBE

International House Kobe 19F

Goko-Dori 8-1-6 Chuo-Ku

651-0087 KOBE/JAPAN

2019年関西地区 日独協会合同新年会

2019年の関西地区日独協会の合同新年会を、1月11日(金)に開催いたします。

関西地区の大阪、神戸、奈良、和歌山、大津、京都の日独協会は、平素より互いに連携をして、日独親善交流に努めています。合同新年会は、各日独協会の会員が新春に集まり新年を祝賀し、相互の懇親を深めるために毎年年頭に開かれているものです。今回も好評の餅つきを行います。

会員の皆様にはこの合同新年会に是非ともご参加いただき、新しき年のドイツとの交流についてご歓談していただきたく、ご案内いたします。

日 時 : 2019年1月11日(金) 18:30~20:30

場 所 : アサヒスーパードライ梅田

ニッセイ同和損保フェニックスタワーB1 TEL06-6311-2829

JR大阪駅徒歩10分、御堂筋線梅田駅徒歩10分

地下鉄谷町線東梅田駅、JR東西線北新地駅徒歩5分

会 費 : 当日 各自実費清算。

餅代として300円をいただく予定です。

申 込 : 参加ご希望の方は、1月9日(水)までに、事務室にご連絡ください。

お早めにお申し込みください(事務室閉室中はFAX、メールにて)。

Tel: 078-230-8150 E-mail : info@jdg-kobe.org

2018年度第Ⅳ期開講

1月10日(木)からドイツ語講座・ドイツ文化教室の2018年度第Ⅳ期が開講します。
講座内容につきましては、会報に同封しましたパンフレットをご覧ください。事務室へお問い合わせください。今年はドイツ語講座・ドイツ文化教室に参加しませんか。奮ってご参加ください。

2018年度 第4回ドイツ家庭料理講習会 開催のお知らせ

7月にスタートをしました今年度のドイツ家庭料理講習会シリーズ第1回～第3回の講習会は好評のうちに終了することができました。ご参加の皆様には、ありがとうございました。

引き続き、第4回目の講習会を、ドイツ総領事夫人のマルティーナ・ライリング＝ケーラーさんに、ドイツの家庭料理をご指導していただきます。

多くの会員の皆様、お知り合いの方々にご参加いただきますようご案内いたします。

◇日 時：2019年1月20日(日) 13時15分—17時 (13時までに集合してください)

◇場 所：うはらホールの料理教室(JR住吉駅南の東灘区民センター8階)(078-822-8333)

◇料理メニュー：

メインメニュー Serviettenklos mit Sauerkraut und kleinen Bratwürstchen
セルビエツテンクロス(ダンプリング)のザウアークラウト
と焼きソーセージ添え

デザート Vanille-Schokoladenpudding mit Sahne
バニラ・チョコレートプディングの生クリーム添え

◇参加費：1200円(会員は1000円)と材料費

材料費の概算は、追って参加者にお知らせします。

◇募集人数：24名

◇お申し込み：参加ご希望の方は、1月7日(月)までに、神戸日独協会事務室まで、電話・FAX・メールにてお申し込みください。定員になり次第締め切らせていただきます。
参加費・材料費は、当日現地でお支払いください。

※当日、エプロン、タオル、レシピ(後日参加者に送付)と筆記用具をご持参ください。

第3回ドイツ料理講習会に参加して

会員 今村 里香

あれは何年前のことだったか忘れてしまうほど、久々の料理講習会参加となりました。今回は、“早くて、簡単で、美味しい”イタリア風、和風、ドイツ風料理“ということで、「フレッシュトマトとシソの葉のスパゲッティ・あさり貝のサラダ、ガーリックトースト添え・りんごのプティパンケーキ」という盛

り沢山のメニューで楽しみにしていました。

4つに分かれたグループで一緒させていただいた方々は、当然のことながら初対面の方ばかり。やや緊張気味な中、初めのドロテア先生の「なんとかなります！」のひとことに救われてスタート。時間と共に言葉を交わすようになり、雰囲気も和らいできました。

メニューが豊富で、下拵えの段階はよかったものの、調理となると作る順序やタイミングが難しく、早合点や急ぎ過ぎもありました。ドロテア先生の「Ah～」という声も上がり、きっと予定と随分違ってしまったのではないかと反省。それでも最後は、各グループボリューム満点の素晴らしい出来栄え！個人的には『遅めの朝食に昼食抜き！』という、備えあれば何とかで、美味しくいただきました。りんごのパンケーキは、時期的にもまた家でトライしたいです。

ドイツ語講座をきっかけに会員となりましたが、暫く遠のいている状態です。料理しながら聞こえてくるドイツ語の響きが心地良く、またいつか…と思いつつ帰路に着きました。

会員によるコンサート開催

2018年2月25日に開催しました会員によるコンサートには、多くの会員の皆さんとそのお知り合いの方々のご参加いただき、ありがとうございました。

今年度も、2019年2月11日(祝)に、会員によるコンサートを下記の予定で企画しておりますので、皆様のご参加をお待ちしております。

チケットの事前ご予約も開始いたしますので、協会事務所の方にご連絡をお願い致します。

日時：2019年2月11日(祝) 15:30開演 (15:15開場)

会場：音楽ホール&ギャラリー里夢 SATOMU

(神戸市灘区曾和町1-4-2-B1、阪急六甲下車2番出口 山側へ徒歩約6分)

会費：会員及び会員のご家族・ご友人 1000円、非会員 1500円

プログラム(一部)：《バイオリン》ベートーヴェン ロマンズ

《ピアノ》シューベルト 即興曲Op142-2

モーツァルト デュポールのメヌエットによる9つの変奏曲KV573

メンデルスゾーン 幻想曲Op28

《オーボエ・ホルン・ピアノ》

ライネッケ オーボエとホルンとピアノのための三重奏曲Op188

出演者：高橋 愛さん 福田可織さん 平山梨絵さん

山口奈央さん 藤原郁美さん 小笠原梨恵さん

チケット予約：2019年2月8日(金)午後5時までに、協会事務所にご連絡ください。

会費は、郵便振り込みもしくは当日会場でお支払いください。

Tel/Fax 078-230-8150 E-mail : info@jdg-kobe.org

郵便振込 記号01160-9 番号18199 加入者名 特定非営利活動法人神戸日独協会

ドイツ語談話室

第180回ドイツ語談話室

日 時 : 2018年11月17日(土) 14-16時

場 所 : 神戸日独協会会議室

テーマ : 私のお勧めの散歩道

今回の司会は川見正之氏が担当され、お気に入りの散歩道として、京都の哲学の道を挙げられた。疎水沿いのこの道は、春は桜、秋はもみじが美しく、かつて、哲学者の西田幾多郎が思索をしながら歩いた道として知られている。ドイツにも、ハイデルベルクほかいくつかの哲学の道がある。また、おなじく京都・嵐山の竹林の道も好きな道である。一方、近年の仮想現実を見る技術を見ると、将来の散歩は、フィットネスクラブで仮想の景色を見ながらウォーキングマシンで散歩するのも？と思われる。次に、参加者が各々お気に入りの散策道を紹介した。その一部を紹介する。

—東京にいた頃、街の中を2、3時間かけて散策を楽しんだ。特に早朝の散歩は気持ちがいいものだ。沖縄の那覇のまちも良く散歩した。

—家の近くの並木道の散策がお気に入りである。イチヨウ、アカシア、ナンキンハゼ、けやき、が季節ごとに美しく、俳句を一句。どこへでも行けそうになる 小春の日。

—スイスとフランスの国境にある、バルメ峠の散策がお気に入り。シャモニーの谷とモンブラン山系を一望にするパノラマは、第一級の景色。また峠に咲くランキュラスの群生は実に素晴らしい。

—奈良・飛鳥の散策路が素晴らしい。石舞台や古墳群が見られ、棚田の美しい所もある変化にとんだ散策路だ。途中に案山子のコンクールがあり、とても見ごたえがあった。

—六甲山高山植物園の散策が素晴らしい。この時期、もみじの紅葉が美しく、写真の良い被写体となる。また、甲山周辺も、大きな貯水池や公園が広がっており、格好の散策路である。

—フランス大西洋側のボルドーから地中海へ向けて、ルイ14世時代に作られた運河のあとが散策路になっていて、プラタナスの並木も素晴らしくとても気に入っている。

—加古川の一応寺の境内に、もみじが紅葉していて素晴らしい。途中の一面のコスモス畑も美しい。また、平荘湖周辺は四季を通じて花々が美しく、今は多くの渡り鳥がいて素晴らしい眺めだ。

今後のドイツ語談話室の予定

第181回 2018年12月15日(土) 14-16時 テーマ : この一年を振り返って

(12月の談話室ではワインを楽しみますので、各自おつまみをご持参ください)

第182回 2019年1月19日(土) 14-16時 テーマ : 新年のヨーロッパ政治の展開

Deutsche Gesprächsrunde

Protokoll der 180. Deutschen Gesprächsrunde

Zeit: Samstag 17. November 2018, 14 bis 16 Uhr

Thema: Mein Lieblingswanderweg

Dieses Mal hatte Herr Masayuki Kawami die Gesprächsleitung und erzählte, dass sein Lieblingswanderweg der „Philosophenweg“ in Kyoto ist. Der Weg liegt entlang des *Sosui* in Kyoto und ist sehr schön im Frühling, wenn die Kirschen blühen, oder im Herbst, wenn sich die Blätter der Ahorn-Bäume bereits rot gefärbt haben. Der Weg ist dafür bekannt, dass der Philosoph Kitaro Nishida dort spazierend über seine philosophischen Ideen nachgedacht hat. In Deutschland gibt es auch „Philosophenwege“, z.B. in Heidelberg. Der Gesprächsleiter, Herr Kawami, schätzt auch den Weg im Bambusforst von Arashiyama in Kyoto sehr. Mit den Fortschritten in der Technik virtueller Realität, werden zukünftige „Wanderungen“ vielleicht vielmehr in einem Fitnessstudio auf einer „Walking Machine“ stattfinden, während man in eine fiktive Landschaft schaut.

Bei der Gesprächsrunde kam es unter anderem zu folgenden Wortmeldungen:

- Ein Teilnehmer hat während seiner Zeit in Tokyo in der Innenstadt zwei bis drei Stunden lange Spaziergänge unternommen. Früh am Morgen war das immer besonders angenehm. Außerdem ist er auch in der Stadt Naha, in Okinawa, viel herumgegangen.
- Eine Teilnehmerin macht Spaziergänge in den Alleen in ihrer Nähe. Ginkgo-Bäume, Akazien, chinesische Talgbäume, japanische Zelkoven, jede Jahreszeit hat ihre eigenen Reize. Sie dichtete ein Haiku: „Wohin auch immer, alle Wege laden ein – schöne Herbsttage.“
- Ein anderer Teilnehmer wandert gerne am Balmer-Pass zwischen Frankreich und der Schweiz. Das Panorama auf die Mont Blanc Bergkette und ins Chamonix Tal gehört zu den schönsten Aussichten, die man sich vorstellen kann. Besonders schön ist es dort, wenn der Hahnenfuß blüht.
- Ein anderer Teilnehmer mag einen Wanderweg in Asuka, in der Präfektur Nara sehr gerne. Der Weg führt an *Ishibutai*, einer historischen Grabanlage, und an Terrassenfeldern vorbei. Einmal gab es dort einen Wettbewerb für Vogelscheuchen, was er sehr lustig fand.
- Ein Teilnehmer wandert gern im Alpengarten von Rokko. Im Moment sind die Ahorn-Bäume hochrot gefärbt und bieten reizvolle Motive für Fotografien. Rund um den Berg Kabutoyama gibt es viele Parks und einen großen Stausee. Dort finden sich auch viele gemütliche Wanderwege.
- Eine Teilnehmerin liebt einen Wanderweg in Frankreich, der an einem Kanal von Bordeaux zum Mittelmeer führt, und schon in der Zeit Ludwig XIV. errichtet wurde. Entlang des Kanals verläuft eine prachtvolle Platanenallee.

-Eine Teilnehmerin wandert gerne im Tempelbezirk von Ichiouji. Auch dort befinden sich in dieser Jahreszeit viele Ahorn-Bäume gerade in ihrer schönsten Herbstfärbung neben Feldern mit Kosmeen. Rund um den Heisoko-See blühen je nach Jahreszeit viele schöne Blumen. Zur Zeit halten sich dort auch verschiedene Zugvögel auf.

Nächste Treffen:

Samstag 15. Dezember 2018, 14 bis 16 Uhr Thema : Mein Jahresrückblick

(Im Dezember bitte Kleinigkeiten zum Essen mitbringen)

Samstag 19. Januar 2019, 14 bis 16 Uhr

Thema: Die Entwicklungen in der europäischen Europa Politik im neuen Jahr

行事参加感想

西国三十三所1300年—巡礼とWanderung—に参加して

会員 平山 順子

西国三十三所は、全国に600以上あるといわれている札所めぐりの中でも最も歴史が古く、全国数多くある観音巡礼の根源と言われています。

平成30年(2018年)は草創1300年にあたり、各札所で記念の御朱印、特別展などのイベントが行われています。今回は、ラストサムライのロケ地になった第27番札所書寫山円教寺をたずねました。

この西国第27番天台宗書寫山円教寺は、康保3(966)年、性空上人によって開かれました。「この山に登る者は菩提心を起こし、また峰に棲む者は六根を浄められる」という文殊菩薩のお告げのとおり、摩尼殿上の白山に於いて、上人は六根清浄の悟りを得られました。その後、上人の徳を慕い利益(りやく)を得ようと言う人々の多くの信仰を集め「西の比叡山」とも称されるように僧侶の修業の道場としても栄えてきました。

現在境内は国指定の史跡であり、又、多くの重要文化財が現存しています。

性空上人は、平安中期にさしかかる延喜10年(910)に橘善根の次男として京都に生まれました。幼い頃の上人は人と交わるよりも静かなところで1人遊ぶのが好きな少年だったと伝えられ、10歳のときに法華経を習い、密かに出家を志しますが、貴族橘氏の復権を願う両親はこれを許さず、出家を許されたときにはすでに36歳になっていました。

出家した上人はまず比叡山に上り、天台教観を学んだのですが、僧としての栄達よりも大衆教化に生きる聖の道を選び、霧島山、背振山に20年余り籠って修行を続けます。そして康保3年(966)上人は新たな修行の地を求めて書寫山に入山、修行の日々を送ります。やがて修行を積んだ上人の徳と名声は都にまで届くようになり、花山法皇によって「円教寺」の寺号を授かり、数々の堂塔が整えられていくなど、今日の円教寺の基礎が築かれます。そうした華やかさの中にあっても上人は聖の心を失わず、ひたすら信仰と修業の道に生きたと言われています。

紅葉が美しい摩尼殿、九州の修行地以来、性空上人に終生仕え、守ってきた乙天(不動明王)、若天(毘沙門天)の二人の童子を祀る鎮寺社の護法堂、秋の特別公開で見られた狩野永納作の襖

絵のある十妙院、ラストサムライの場面にあった大講堂、食堂、常行常、また最後に奥之院をおとずれました。お天気にも恵まれ、平安期より守り継がれた歴史の重みと深い信仰心に包まれ、大衆を思う性空上人の心をいただいて幸せな1日になりました。

ドイツ文化サロン第16回『私と神戸日独協会』感想

・日時： 2018年11月30日(金) ・講師： 田中 美津子さん(神戸日独協会元理事)

神戸日独協会との60年の歩み

会員 柘田 節子

日独協会そしてドイツ語と共に60年以上歩んでこられた田中美津子さんは、「若い頃の話を話すと元気が出る。家族は『チョー昔のこと』と言うが、皆さんは昔のことは新しく聞くこととして聞いてください」とお話しを始められた。田中さんは大阪大学独文科を卒業後、昭和29年神戸大学文学部教授の加藤一郎先生を中心に旧神戸国際会館内に神戸日独協会(初代会長は原口忠次郎元市長)が再建された直後に、協会秘書としてゼロからのスタートをされた。仕事は書籍や新聞の収集や切り抜きから始まり、ドイツ総領事館(阪神震災前まで神戸国際会館内)から寄贈されたドイツ書籍やレコードの整理、当時では珍しい寄贈されたレコードのコンサートやドイツ語講座の開催事務。当時はドイツ文学学習者やドイツ語でカルテを記す医学部学生そして音楽大学生等々ドイツ語を学びたい人たちが多く、各講座の定員は25名で毎学期申し込み初日に事務室前の廊下には多数の希望者が並び32名まで受け付け、ある時には33番目の女子学生が自前の椅子を持ち込むので講聴したいと切望されたこともあったとのこと。加藤先生は一言で言うなら「どなたとでもすぐに仲良くなれる方」なので、その広い交際範囲のためか、受講者にはパン屋さん、中学生、和服のご婦人等々がいらしたり、神戸日独協会(ドイツ図書室)にはおでん屋のおかみさんやウエイトレス達もよく出入りされていたとのこと。昭和4年京都帝国大学卒業後から昭和40年まで神戸大学に在職されたが、戦争中に出征する学生を見送り、最後の一人の学生が大学に戻ってくるまでは絶対に転勤しないと心に決めて神戸大学でずっと学生が生還されるのを待っておられたとのこと。このお話しをお聞きするだけで、加藤先生のお優しいお人柄が思い起こされる。田中さんのお話に加え、ご持参された当時の沢山の写真をも拝見しながら、加藤先生のご晩年のみしか知らない私にも加藤先生と再建直後の日独協会のご様子が彷彿と想像できました。

美津子さんは2年間の協会秘書をされた後、結婚、御主人の転勤、子育てをされ、昭和40年に西宮に戻られ義理のご両親と同居され、37歳で神戸日独協会に再び戻られました。新聞での「ミノルタ・ドイツ語セクレタリー」の募集記事に応募され、嘱託としてミノルタの企画管理部でドイツ・ライカ社とのレターやファックスのやり取り、ドイツからの代表団を迎えての会議や契約・観光案内、商品の受け入れ検査やクレーム処理等あらゆる仕事をされたとのこと。当時はお手本も教えてくれる人もなく、ライカ社から送られてくる資料が良いテキストとなり、在職22年間にご自分で実地体験して作成された分厚い「ドイツ語の熟語や言い回し表現」や「カメラレンズの傷の種類(曇りや欠点等)の表現」等もご披露していただいた。ドイツ語の理工系の文章は、英語や文学文等と違って、主語・目的語も明確で論理的にきちんと伝えることができるので、興味深く仕事ができたとのこと。

その間に神戸日独協会の会計担当そして理事もされ、協会の「30年史」そして「60年史」編纂にも関わられた。平成7年には阪神大震災で神戸国際会館が全壊し、協会内の資料や図書等の持出のため、黒崎会長や畠田先生と共に会館裏口で会館側から「何があっても自己責任」と言われヘルメットをかぶり館内に入り、期末決算書や記念の品や寄せ書き等を取り出した。その後協会が平成10年に国際会館に再入居し、NPO法人となり会計も普通の会計と異なってきたので、平成19年に会計担当・理事を辞められました。その後はオットー・レファートさんの「神戸のドイツ人」の日本語訳をして上梓されました。

これまでご自分のやりたいことを一生懸命やってこられたのは、第一に御主人や義理のご両親や子どもたちご家族の理解と協力があったることと感謝をし、特にご主人が快く美津子さんを外の社会に出して下さったとのこと。神戸日独協会とは、「会員一人一人の協会」であり、「私のドイツ」「私の日独協会」であって、そうあってほしいとお話しを締めくくられました。

今回のサロンには、古くからの会員の方々をはじめ懐かしいお人たちが参加して下さいましたので、参加者一同で記念撮影をして終わりました。

田中美津子さんには、神戸日独協会会員の先輩として協会の活動をいついつまでも見守っていただきたく、ご健康をお祈りいたします。

事務室からのお知らせ

年末・年始の協会事務室の閉室について

12月25日(火)から1月4日(金)まで事務室は閉室します。

※閉室期間中、催し等のお申込み・お問合せはFAX・メールでお願いいたします。

会報発送ボランティア募集

会報の発送を手伝ってくださる方を募集しております。次回の発送予定日は1月10日(木)です。

お手伝いいただける方は、事前に事務室へご連絡(TEL/FAX 078-230-8150)の上、12時半頃事務室にお越しください。

これからの神戸日独協会の催し

日時	催し	会場	申込×切 など
12月15日(土) 14:00~	第181回 ドイツ語談話室	神戸日独協会 会議室	当日参加可
12月16日(日) 15:00~	実行委員会	神戸日独協会 会議室	当日参加可
1月11日(金) 18:30~	2019年関西地区 日独協会合同新年会	アサヒ スーパードライ梅田	1月9日(水)まで
1月20日(日) 13:00~	第4回ドイツ家庭料理講習会	うはらホールの 料理教室	1月7日(月)まで